

消 防

1	消防力	342
2	活動状況	345
3	防災対策	347
4	消防団	348
5	職員・団員の処遇	349

▶ 現場中継システム



消 防

複雑多様化する災害や救急需要の増大に対応するため、消防活動及び救急救命体制を強化するほか、火災予防対策を推進するなど、安心安全なまちを目指して、質の高い消防力の強化に取り組んでいる。

令和5年度は、大規模自然災害に適切に対応するため、崩落監視システムの整備などを行ったほか、危険物火災に対する消火能力を強化するため、泡消火薬剤の更新を行った。

また、災害現場の動画を共有し、迅速・的確な災害対応や応急手当につなげるため、119番映像通報システムや現場中継システムを整備した。

救急業務においては、高規格救急車や自動式心肺蘇生器等を更新するとともに、救急業務の高度化に対応するため、救急救命士や指導救急救命士を養成したほか、市民に対してAEDの使用法を含む応急手当講習を積極的に実施するなど、救急救命体制の充実を図った。

火災予防対策としては、各種媒体を活用した広報による住宅用火災警報器の10年更新等の周知など、住宅防火対策を推進するとともに、防火対象物の利用者等の安心・安全のため、違反対象物の関係者に対する適切な防火管理と消防用設備の設置、維持についての指導に努めた。

1 消防力

(1) 人員・車両

(令和6.4.1現在)

消 防 職 員		配 置 車 両
定数 540人	現員数 538人 うち消防吏員 535人	(ポンプ車・はしご車・救急車) (その他の) 他 緊急自動車 (車 両) 消防署 106台 8台 消防団 84台
消防職員1人に対する		消防(署)ポンプ自動車1台に対する
人 口	1,082人	人 口
世 帯	527世帯	世 帯
面 積	1.01km ²	面 積
		22,465人
		10,953世帯
		21.06km ²

(2) 人員・車両等内訳

(令和6.4.1現在)

消 防 職 員	人	消 防 車 両 等	台	119番通報に対応するシステム等
消 防 局 長 (正 監)	1	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	22	消 防 緊 急 通 信 指 令 シ ス テ ム
消 防 監	4	消 防 ポ ン プ 車	4	消 防 救 急 デ ジ タ ル 無 線 シ ス テ ム
消 防 司 令 長	28	は し ご 車	3	1 1 9 番 映 像 通 報 シ ス テ ム
消 防 司 令	45	屈 折 は し ご 車	1	現 場 中 継 シ ス テ ム
消 防 司 令 補	96	大 型 化 学 高 所 放 水 車	1	F A X 1 1 9
消 防 士 長	146	化 学 車	1	メ ー ル 1 1 9
消 防 副 士 長	133	泡 原 液 搬 送 車	2	N e t 1 1 9
消 防 士	82	水 槽 車	1	多 言 語 通 訳 業 務
そ の 他 の 職 員	3	救 助 工 作 車	3	市 民 へ 情 報 提 供 す る シ ス テ ム
		支 援 車	1	テ レ ガ イ ド
		資 機 材 搬 送 車	2	安 心 ネ ッ ト ワ ー ク 1 1 9
		ミ ニ 消 防 車 ・ 防 災 車	21	
		指 揮 車	4	
		救 急 車	23	
		災 害 用 二 輪 車	6	
		そ の 他	19	
合 計	538	合 計	114	

(3) 消防水利

(令和6.4.1現在)

消 火 栓	6,751	防 火 水 槽	925 (40m ³ 以上529 40m ³ 未満396)
-------	-------	---------	--

(4) 職員並びに車両配置状況

(令和6.4.1現在)

区 分	職員	車 両 配 置										
		水槽付 ポンプ車	ポンプ車	救 助 工作車	はしご車 (副式含む)	大型化学 高所放水車	化学車	救急車	その他	計		
合計	定 数	540										
	現 員 数	538(4)	22	4	3	4	1	1	23	56	114	
内 部	消防本部	総 務 課	22							3	3	
		警 防 課	11							1	1	
		救 急 課	13						1	1	2	
		情 報 管 理 課	21							1	1	
		予 防 課	17							4	4	
	消 防 署	中央消防署	庶 務 係	3								
			警防第一係	2							1	1
			警防第二係	2								
			予防指導係	8							2	2
			中央本署	37	1		1	1		1	4	8
			南林寺	24		1		1		1	2	5
			名山町	13		1					1	2
			上野町	20	1					1	1	3
			吉野	20	2					2	1	5
			吉田	16	1					1	1	3
			甲南	22		1				2	1	4
			桜島東	10	1					1	1	3
桜島西	10	1					1	1	3			
消 防 署	西消防署	庶 務 係	3									
		警防第一係	2							1	1	
		警防第二係	2									
		予防指導係	2							2	2	
		西本署	39	1		1	1		2	3	8	
		伊敷	20	1					1	1	3	
		明和	12	2						1	3	
		田上	13	1						1	2	
		松元	15(2)	1					1	1	3	
郡山	16	1					1	1	3			
消 防 署	南消防署	庶 務 係	3									
		警防第一係	2							1	1	
		警防第二係	2									
		予防指導係	3							2	2	
		南本署	37	2		1	1		1	6	12	
		山谷北	20	1					1	1	3	
		谷山	20	1					2	1	4	
		脇田	12	2						2	4	
郡元	25	1					1	4	6			
喜入	19(2)	1	1			1	2	2	7			

※職員（ ）内の数字は短時間再任用職員の数で外数

2 活動状況

(1) 最近5カ年の火災状況

区分		年	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
出火件数	建物	88	81	82	78	96	
	林野	1	2	3		2	
	船舶・車両	19	19	17	12	19	
	その他	40	53	51	35	32	
	計	148	155	153	125	149	
り災状況	り災世帯	59	73	89	64	84	
	り災人員	119	164	189	135	168	
	焼損棟数(全半焼)	27	26	25	22	23	
	建物焼損床面積(m ²)	2,949	3,597	2,067	2,129	2,030	
	林野焼損面積(a)	7	33	139		121	
損害額(千円)		109,638	214,783	115,502	80,319	69,384	

(2) 原因別出火件数

(令和5年中)

原因別	件数	原因別	件数
たき火	21	ストーブ	2
こんろ	21	焼却炉	2
電気	18	灯火	2
放火(疑い含む)	15	取灰	2
たばこ	14	火入れ	2
排気管	5	その他	37
火遊び	3	不明・調査中	2
風呂かまど	3	計	149

(3) 予防査察件数

(令和5年度)

区分	対象物	集会場	飲食店	マーケット	ホテル	共同	幼稚園	美術館	浴場等	停車場等	
		興業場等	遊技場	百貨店等	旅館等	住宅等	福祉施設	学校			図書館等
対象物数		262	549	620	103	6,268	1,383	17	34	7	
査察延数		107	280	217	68	1,655	894	9	22	2	
査察率(%)		41	51	35	66	26	65	53	65	29	
区分	対象物	神社	工場	倉庫	事業所	複合用途		文化財	アーケード	危険物	計
		教会等	作業場等	駐車場等	その他	イ	ロ				
対象物数		111	845	818	1,380	2,465	3,146	3	13	1,114	19,341
査察延数		41	237	210	458	1,365	880	3	4	800	7,405
査察率(%)		37	28	26	33	55	28	100	31	72	38

(4) 救急活動状況

高規格救急車23台（うち非常用救急車5台）（令和6.4.1現在）

配置箇所 中央本署1台，南林寺1台，上町1台，吉野1台，吉田1台，甲南1台，桜島東1台，桜島西1台，西本署1台，伊敷1台，松元1台，郡山1台，南本署1台，谷山1台，谷山北1台，郡元1台，喜入1台，救急ステーション（市立病院）1台
（非常用：吉野1台，甲南1台，西本署1台，谷山北1台，喜入1台）

救急隊員 118人

活動状況（令和5年中）

区分	事故種別	出場件数	搬送件数	搬送人員		
				計	男	女
火災		98	21	21	15	6
自然災害		3	3	3	2	1
水難		10	4	4	2	2
交通事故		1,899	1,533	1,639	945	694
労働災害		212	183	183	150	33
運動競技		162	156	156	120	36
一般負傷		5,350	4,863	4,874	2,050	2,824
加害		132	100	102	61	41
自損行為		362	258	259	86	173
急病		25,876	22,481	22,530	10,996	11,534
その他		4,442	3,684	3,685	1,796	1,889
合計		38,546	33,286	33,456	16,223	17,233

3 防災対策

(1) 消防警備対策

建築物の構造，地理水利の状況，消火・延焼・人命危険等の各要素を消防の見地から総合的に判断し，火災が発生した場合に人命危険が高く，また，消防警備活動上困難が予想される地域等について，毎年1回以上の実態調査を行い，予防査察や訓練を行うとともに，防火指導を実施して関係者や住民の防火意識の高揚を図っている。

(2) 中高層建築物対策

中高層建築物に対する消防体制として，はしご車4台を三署に配置している。また，建築設計のときから安全避難及び救助その他の消防活動等を有効に確保するための指導を行うとともに，定期的に中高層建築物調査や消防警備査察を実施し建物の状況把握に努めている。さらに，消防総合訓練研修センターの高所訓練塔や実際の建物を使用して伸梯訓練や救助訓練等を行うとともに，はしご車等を配置している各署の隊員に対し，はしご車等要員研修を行い，隊員の能力向上を図っている。

4階以上の建築物状況

(令和6.4.1現在)

4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	計
2,977	2,135	588	390	341	186	227	353	7,197

(3) 危険物火災対策

危険物火災対策として大型放水砲車1台，大容量送水車1台，化学消防車1台，大型化学高所放水車1台，化学機能付水槽付消防ポンプ自動車1台，泡原液搬送車2台，資機材搬送車2台と泡放射器材を装備した車両25台の計34台を配置している。災害規模の大きな非常事態の場合，消防相互応援協定等に基づき，化学消防車および泡原液等を集結させる。これらの危険物施設に対しては積極的に消防演習や訓練を実施するとともに，定期的に消火薬剤の放射訓練などを行っている。

油槽所別数量表

(令和6.4.1現在)

区 分	種 別	タンク数	数量 (kl)
谷 山 港 一 丁 目	第一石油類	12	31,868
	第二石油類	11	36,541
	第三石油類	9	20,556
浜 町	第二石油類	1	495
	第三石油類	2	1,600
喜 入	第一石油類	57	7,396,987
	第三石油類	3	381,703
合 計		95	7,869,750

4 消防団

(1) 消防団員の定数及び報酬

(令和6.4.1現在)

階級	区分	定数	現員数	報酬(年額)
団	長	1人	1人	86,300円
副	団長	10	10	69,000
分	団長	76	76	62,200
副	分団長	76	76	45,500
部	長	136	115	38,700
班	長	307	257	37,700
団	員	965	904	36,700
学生機能別団員		200	77	8,000
計		1,771	1,516	
その他報酬		1 庶務担当者	月額4,800円	
		2 機関整備担当者	月額3,200円	

上記報酬以外に下記のとおりとする

- ・基本団員の出勤報酬
災害の場合 1日につき8,000円
警戒, 訓練の場合 1日につき7,000円
- ・学生機能別団員の費用弁償
規則で定める職務に従事した場合 1回につき3,500円

(2) 消防団員の年齢(学生機能別団員除く)

(令和6.4.1現在)

団員数	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,439人	3	25	38	75	127	204	247	174	173	373	50.5歳

(3) 消防団員の勤続年数(学生機能別団員除く)

(令和6.4.1現在)

団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	平均勤続 年数
1,439人	302	281	205	214	138	111	188	14.9年

(4) 保有機材

(令和6.4.1現在)

水槽付消防ポンプ車2台, 消防ポンプ車18台, 団指令車1台, 小型動力ポンプ積載車61台, ミニ消防車(小型動力ポンプ積込)1台, 団防災学習車1台, 小型動力ポンプ62台

5 職員・団員の処遇

(1) 賞じゅつ金等

消防吏員及び団員は、消防業務を遂行するに当たって、危険な場面に遭遇してもその任務を遂行しなければならないが、この職務遂行に当たって、後顧の憂いなく、業務に専念できるようにこの制度が設けられた。職務を遂行したことによって、死亡又は身体に障害が存することとなった場合にこの賞じゅつ金等を支給する。

殉職者特別賞じゅつ金…	1,500万円		
殉職者賞じゅつ金…最高	1,140万円	最低	450万円
障害者賞じゅつ金…最高	900万円	最低	18万円
死亡見舞金…	1,500万円		
障害見舞金…	1,500万円以下	最低	36万円

(注) ①賞じゅつ金支給対象の場合は、見舞金が併給される。

②殉職者特別賞じゅつ金を支給する場合は殉職者及び障害者賞じゅつ金は支給しない。

(2) 団員の退職報償金

国の定める基準に従い消防団員退職報償金条例を制定し支給している。

(令和6.4.1現在)

階 級	勤 務 年 数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 長	239,000円	344,000円	459,000円	594,000円	779,000円	979,000円
副 団 長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000
分 団 長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000
副 分 団 長	214,000	303,000	388,000	478,000	624,000	809,000
部長及び班長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000
団 員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000